

# ピアネット monthly July. 2018

## ピアネット・マンスリーの発行について

ピアネット・マンスリーは各団体の活動状況に合わせて定期的に発行していきます。《ピアネット事務局》

### 【課外教養プログラム（学生センター）】

「博報堂スピーチライター直伝！あなたの言葉を強くする方法」を実施しました

2018年5月30日（水）、㈱博報堂でスピーチライターをされているひきたよしあき氏をお招きし、課外教養プログラム「博報堂スピーチライター直伝！あなたの言葉を強くする方法」を実施しました。学生のなかには、自己表現が苦手で、授業中のディスカッションや就職活動に影響している人も多くいるようです。そこで本プログラムは、自分の言いたいことを相手に分かりやすく伝える技術を身につけることを目的としました。プログラムでは、三つのテーマについてお話いただきました。一つ目は、一言でインパクトを与える方法についてです。これは、自身の経験や性格をもとに、自分を一言で表す言葉を見つけて定義づけることで、自分のブランド力を確定させることができるというものでした。二つ目は、自分の実現したいことに必要な要素を明確にする「マンダラート」という方法です。これは、3×3の9つのマスを作成し、中心のマスに目標を書き、残りのマスには目標を実現するためにすべきことを書くというものです。これにより目標の達成に近づくということで、多くの参加者が関心を寄せているようでした。三つ目は、議論で解決策を生み出す方法と、自己表現で使えるポイントです。ここでは、自身の主張と、相手からの反対意見も考慮したうえでその解決策を提示することで、より高次元な考えを生むことができることを学びました。それに加えて、「カンカラコモデケア」というものを紹介していただきました。これは、感動、カラフル、今日性、データ、決意、明るくの略称で、これらをプレゼンなどで意識することで、相手により強い印象を与えて惹きつけることができるというものでした。講義中は、多くの参加者がメモをとりながら講師の話熱心に聞いている様子が印象的でした。また、講師から質問を投げかけられて発言をした学生に拍手をすることで、博報堂の「発言者には敬意を込めて拍手を」という賞賛の文化に触れることができました。参加者からは「内容が濃くてとてもためになった」「参加して楽しむことができ、今後に役立てていきたい」などの声があり、充実したプログラムとなりました。



講師による説明



講師の話熱心に聞く参加学生



集合写真



### 【ボランティアセンター】

「外国人おもてなし語学ボランティア」育成講座を実施しました

市ヶ谷ボランティアセンターと東京都が共同で、6月2日に「外国人おもてなし語学ボランティア」育成講座を実施し、59名の学生が参加しました。

東京都と法政大学は、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を見据え、外国人観光客等が安心して東京に滞在できる環境を整えるため、本講座を実施しており今回は本年度で5回目の実施となります。

東京都が単独で実施している本講座の受講者は、40代、50代、60代の方が多く、大学と東京都が共同で実施することによって、10代、20代の参加も促せるのではないかと思います。東京都と協定を締結し本講座を実施いたしました。また、東京都が単独で実施している本講座の抽選倍率は20倍～30倍であるため、共同で実施することによって本学学生が優先的に受講する場を提供することができました。

当日は、台東区谷中にある「澤の屋」という旅館を紹介した動画を見た後に、おもてなしに関する基礎知識としてコミュニケーション力と問題解決、ボランティアスピリッツについて学びました。講師の話を一方向的に聴講する講座ではなく、グループワークやペアワークを通して、参加者が発表する形式であったため、全員が積極的に参加することができ、非常に満足度の高い講座となりました。

最後に、この講座の参加者全員で「おもてなし5箇条」を作成し、ボランティアスピリッツを共有しました。

講座終了後に登録証とバッジが配布され、法政大学から59名の「外国人おもてなし語学ボランティア」を輩出することができました。

ボランティアセンターでは今後もこのような講座を実施していきます。



講師による説明



グループワーク



## 【図書館】

「選書ツアー」を実施しました

6月中旬に、市ヶ谷・多摩・小金井の各図書館ライブラリーサポーターが紀伊國屋書店新宿本店にて、「選書ツアー」を行いました。学生の視点で、「同じ学生のみなさんに読んでもらいたい！」と思う本を選びました。選書ツアー後は、参加者同士で、選んだ本や、好きな作家、好きな本のジャンルなどについて、意見交換も行いました（市ヶ谷・多摩）。ライブラリーサポーターが選んだ本は、各図書館にて展示予定です。ぜひ図書館へお越しください♪



選書ツアーの様子



## 【FD 推進センター】

◆2018 年度第 1 回「学生が選ぶベストティーチャー賞」実行委員会を実施しました！

本委員会には、学生FDスタッフ6名・教職員8名が参加し、今年度の「テーマ」について意見を出し合いました。実施後には懇親会を開き、親睦を深めました。10月末の実施に向けて、引き続き検討・準備をして参ります。

◆オープンキャンパスのイベントに今年も参加します！

昨年に引き続き今年も、8/5,19,20のオープンキャンパス（市ヶ谷）において、学生FDスタッフによる高校生向けのトークショーを行います。テーマは、「法政大学でのまなびについて～大学生活と高校生活はこんなに違います～」。

本番まで残りわずかですが、来場者に満足してもらえるよう全力で頑張りますので、みなさんぜひお越しください♪

\*実施時間・実施期間は以下のとおりです（3日間同様）。

### 【実施時間】

1回目 11:05～11:50

2回目 13:15～14:00

3回目 15:25～16:10

### 【実施場所】

G501 教室



ミーティングの様子



## 【学習ステーション】

「七夕フェスタ」を実施しました



七夕フェスタを7/2（月）～7/6（金）の期間限定で昼休みに実施し、75名の参加がありました。短冊や射的、ヨーヨー釣り、型抜き、といった七夕らしい企画を提供しながら、学習ステーションの活動およびピアネット活動の宣伝を行いました。

参加学生からは「七夕フェスタを通じて学習ステーションの存在を知ることができた。普段のプログラムにも興味を持った。」「賑やかで楽しく、何回も参加しました。」など多くの感想が寄せられました。



プログラムの様子



## 【編集後記】

みなさん、サッカーW杯はご覧になられましたか。寝不足の日々もやっと解消されますね。日本は残念ながら16強で敗退となりましたが、長谷部誠選手のキャプテンとしての振る舞いには凄みを感じました。彼の有名な名言として「自分と向き合う方法は、主に2つある。ひとつは孤独な時間を作り、ひとりでじっくりと考えを深めていくこと。そしてもうひとつは、尊敬できる人や仲間と会い、話をすることで自分の立ち位置を客観的に見ることだ。」があります。一旦立ち止まって、自分と向き合いたいときに試してみてもいいでしょうか。実際に私も学生時代の仲間と会うときに自分の立ち位置を確認するようにしています。周りの成長度合いを見た上で、自分が思い描いていたあるべき姿に近づいているのか。そういう意味で仲間は自分を計る指針でもあるのだなと感じているこの頃です。日々の生活でなかなか自分と向き合う時間が取れないかもしれませんが、ふと立ち止まって自分自身に目を向けてみるのも良いかもしれません。ピアネット・マンスリーについてのご感想をお待ちしています。

◀事務局：堀越▶

法政大学 学務部 教育支援課（学習ステーション）03-3264-9071